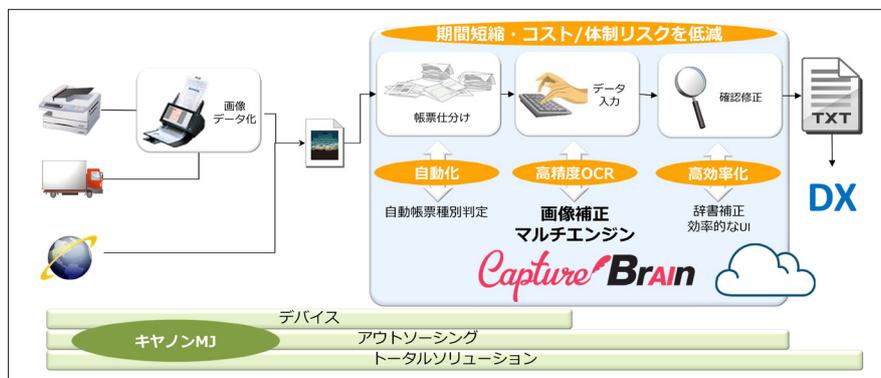


NEWS RELEASE

キャノンマーケティングジャパン株式会社
キャノン IT ソリューションズ株式会社

クラウド型 AI OCR ソリューション「CaptureBrain Ver.2.0」を提供開始 企業の DX 実現に向け業務プロセスを変革するデジタルソリューションを強化

キャノンマーケティングジャパン株式会社(代表取締役社長：坂田正弘、以下キャノン MJ)とキャノン IT ソリューションズ株式会社(代表取締役社長：金澤明、以下キャノン ITS)は、AI OCR 基盤として「CaptureBrain(キャプチャーブレイン)」の機能とラインアップを拡充し、新バージョンの提供を2020年10月下旬より開始します。本ソリューションは紙帳票の電子化とデータ入力業務の自動化により、お客さまの業務プロセスを最適化し業務効率化を実現します。キャノン MJ グループは中小・中堅企業から大手企業まで業種・業務に特化したデジタルソリューションの提供を強化し、お客さまのバックオフィス業務の DX を支援していきます。



「CaptureBrain Ver.2.0」を中核にしたデジタルソリューションのイメージ図

多くの企業ではビジネス環境の変化に対応し顧客や社会のニーズに応えるため、AI や IoT、クラウドなどの技術を活用し、生産性向上を支援する DX への取り組みが拡大しています。また、ビジネスモデルの変革や競争力の強化など新たな価値創出が期待される一方で、働き方改革により既存ビジネスのデジタル化や業務プロセスの標準化・自動化による生産性の向上が課題となっています。

キャノン ITS は独自の画像処理技術・AI 技術と、株式会社 Cogent Labs の手書き文字認識 AI エンジン「Tegaki」を連携させたクラウド型 AI OCR ソリューション「CaptureBrain」の提供を2019年5月より開始しました。本ソリューションによりスキャンした紙帳票データをクラウド上で画像補正、帳票種別の分類、OCR 処理を行い、確認したデータを CSV 形式でダウンロードできます。

今回提供する新バージョンでは、OCR の読み取り精度の向上のためマルチエンジンを搭載しており、OCR の項目ごとに最適なエンジンを選択できます。Cogent Labs の「Tegaki」エンジンに加え、キャノン ITS が開発した数字などの項目特化型、活字、チェックボックスといった複数のエンジンを備えています。さらに、キャノン独自の画像補正エンジンによる高い OCR 認識精度に加え、新たにユーザー辞書機能を搭載し OCR 結果を自動補正する後処理の機能も強化しました。

また、お客さまの案件にあわせて組み込む SI コア版に加え、新たに SaaS 版を提供します。これによりお客さまは AI OCR サービスを手軽にスピーディーに導入でき、システム運用の負担を軽減し様々な業務での活用の幅を広げます。

キャノン MJ とキャノン ITS はこれまで、金融機関や製造業、流通・サービス業などの大手企業を中心に業種・業務にあわせたデジタルソリューションを展開し、お客さまの業務効率化とデータ活用を推進してきました。今回の新バージョンより、キャノン MJ グループの販売網を活用し、大手企業から中堅・中小企業の顧客層まで提供対象を拡大していきます。

